

施策評価シート (平成26年度の振り返り、総括)

作成日 平成27年 06月 24日

施策 No.	14	施策名	男女共同参画社会の実現
主管課名	生涯学習課	電話番号	0285-82-7151
関係課名	秘書課, 企画課, 総務課, 三つ子の魂育成推進室, 健康増進課, 福祉課, 児童家庭課, 商工観光課, 農政課, (社会福祉協議会)		

施策の対象	・市民 ・市内事業所数(事業所・経済センサス(平24)による)								
対象指標名	単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	26年度見込
人口	人	83,392	82,997	82,584	82,136	81,511	80,929	80,698	85,500
事業所数	個所	3,698(H18)	3,698(H18)	3,784(H21)	3,784(H21)	3,784(H21)	3,451(H24)	3,451(H24)	3,451(H24)

施策の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・男女の固定的役割分担意識が解消される。 ・あらゆる分野で男女共同参画が確保される。 								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	<ul style="list-style-type: none"> ・「男女の固定的役割分担意識は解消されていると感じている市民の割合」は、市民意向調査の集計結果とする。 ・「委員会・審議会などの女性委員構成割合」は、市総務課で調査した「附属機関等の委員の構成調べ」の女性の占める割合とする。 								
成果指標名	単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	26年度基本計画目標値
男女の固定的役割分担意識は解消されていると感じている市民の割合	%	65.7	72.2	67.5	67.1	72.3	62.3	62.2	75.0
委員会・審議会などの女性委員構成割合	%	25.0	25.4	27.5	26.8	24.4	26.8	26.1	30.0

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・市民は、一人一人が男女平等意識を持ち、生活の中で男女共同参画の実践に努める。 ・行政は、市民に対する意識啓発と率先した男女共同参画を推進する。 								
-------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

26年度の
評価結果

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

（１）施策成果の時系列比較（過去３年間の比較）

・市民意向調査で、男女の固定的役割分担意識が解消されていると感じる市民の割合は、平成24年度が72.3%、平成25年度が62.3%、平成26年度が62.2%で、前年度と比較するとほぼ同じである。

・委員会・審議会などの女性委員の構成割合は、平成24年度が24.4%、平成25年度が26.8%、平成26年度が26.1%で、前年度と比較すると0.7ポイント低下した。

（２）近隣他市との比較

栃木県「男女共同参画社会に関する意識調査」（平成26年調査）

・固定的役割意識が解消されている割合：50.0%

足利市「人権・男女共同参画についてのアンケート調査報告書」（平成26年調査）

・固定的役割意識が解消されている割合：56.1%

・本市の固定的な役割分担意識が解消されていると感じる市民の割合は、62.2%で県及び足利市と比べると高い割合である。

・本市の委員会・審議会の女性委員の構成割合は、県内12市（矢板市、さくら市は未調査）のうち、女性委員の多い順は6番目でほぼ中間である。

（H26年調査）1小山市38.2%、2足利市34.8%、3下野市33.6%、4日光市31.2%、5那須烏山市30.9%、6真岡市26.1%、7栃木市24.8%、8宇都宮市24.5%、9佐野市23.5%、10大田原市21.6%、11那須塩原市20.9%、12鹿沼市20.2%

（３）住民期待水準との比較

・市民意向調査でまちづくりに力を入れてほしい施策のうち「男女共同参画社会の実現」の割合は、24年度は3.0%、25年度は2.8%、26年度は2.6%で、ほぼ同水準である。

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

・平成23年度から、啓発事業として真岡市男女共同参画情報紙「US・アス」を市民会議委員と協議し、編集を行い、平成24年3月に創刊号、平成25年3月に第2号、平成26年3月に第3号、平成27年3月に第4号を発行し、市内全戸に配布し周知に努めた。

・平成26年度の地域座談会は、10回（延べ参加者：429人）実施した。

・市主催事業は、「真岡市男女共同参画社会づくり講演会」を開催し430人が参加した。また、女性団体連絡協議会は、「市民のつどい」を開催し83人が参加した。

・団体の育成として、各地区婦人会、女性団体連絡協議会・市婦人会連絡協議会への活動支援を行っている。

・県主催事業の「女性教育指導者研修」に2人派遣し、研修の支援を行った。

・真岡市男女共同参画推進事業者（企業、個人事業者、自治会、市民団体等）の表彰募集を市広報、ホームページ、会議所だよりに掲載するとともに、真岡市工業団地総合管理協会、二宮商工会等に資料を配布した。
なお、平成26年度は、独自の取り組みが評価された3事業者（栃木カネカ、第一電子工業真岡事業所、間木堀区）を表彰した。

3. 施策の課題認識と改革改善の方向

・男女共同参画社会づくりの推進として、引き続き、地域座談会（出前講座）を開催し、家庭や地域、職場において男女共同参画の普及啓発を図っていく。

・「第2次真岡市男女共同参画社会づくり計画」に基づき推進事業を行い、男女共同参画社会の早期実現を図っていく。

・男女共同参画推進のための、取組みを積極的に行っている事業者（企業、個人事業者、自治会、市民団体等）を表彰し、広く市民に本施策の周知を図っていく。

・付属機関等の委員構成において、女性委員の増員を図っていく。

26年度の
評価結果

補足事項